

3月4日
土曜日
2000年
(平成12年)
PM 8:40

日本一

いきなりピクシーをピタッ

磐田 GK 尾崎はPK戦で、名古屋1番手のストイコビッチのシュートを止めた。その後も平野、呂比須を止め、磐田の初の日本一へ大きく貢献した 右上はゴール裏から

名古屋下し初の栄冠

磐田

PK戦尾崎3発止めた

ゼロックス・スーパー杯 4日	
国立競技場 観衆25,063人	
磐田	名古屋
0 - 0	1
1 - 1	PK
3 - 2	2
後半10分【名】平野	ホルミド R 7m
後半28分【磐】高原	福西 R 11m

ゼロックス・スーパー杯
昨年度のJリーグ年間王者の磐田と、天皇杯優勝の名古屋が「日本一」を争うゼロックス・スーパー杯が行われ、磐田がPK戦を制して初の栄冠に輝いた。
後半10分に名古屋が先制し、試合は動き出した。MF平野孝(25)の右サイドからのクロスポールに、新戦力のDFホミルド(26)が右足アウトで合わせ来日初ゴールを挙げた。前半からMFストイコビッチ(34)を中心に攻撃を組み立て、横浜から移籍のDF井原正巳(32)を中心に守りを固めていた磐田のゴールをこじあげた得点だった。ところが同28分、FW高原直泰(20)からのセンタリングがDF福西崇史(23)が右足で決め、試合を振り出しに戻した。同点に追いついてからも激しく名古屋ゴールに迫った磐田だったが、MF奥大介(24)が決定的なフリーの場面をGKに阻まれるなど、決勝点を奪うことができず、試合は大会2度目のPK戦にもつれ込んだ。
PK戦ではいきなり磐田GK尾崎勇史(31)がストイコビッチ、平野のシュートを止め磐田がリードした。名古屋GK植崎正剛(23)も高原、中山雅史(32)のシュートを止め日本代表GKの意地を見たが、尾崎が名古屋5人目のFW呂比須ウケナ(31)のシュートを止め、磐田が大会挑戦2度目にして初の日本一の座を手に入れた。